

● 定格・性能		
電子除湿機	定格電圧	AC100 [V]
	定格周波数	50/60 [Hz]
	定格消費電力 (a)	235 [W] (通常), 130 [W] (弱運転)
	除湿能力	1800 [ml/day] (通常), 672 [ml/day] (弱運転) (※1)
	除湿風量	132 [m³/h] (※1)
	騒音	50/48 [dB] (※2)
	質量	約 6.6 [kg] (※3)
システム運転時の消費電力は (a)+(b)または(a)+(c)		
+ どちらかを選択	TYPE-C (基礎パッキン工法用)	定格電圧 AC100 [V]
	送風機 (攪拌型) セット品番: DP-800-SCC	定格周波数 50/60 [Hz]
	TYPE-D (基礎断熱工法用)	定格消費電力 (b) 26/30 [W]
	送風機 (拡散型) セット品番: DP-800-SDC	騒音 46/43 [dB] (※4)
+		質量 約 3.8 [kg] (※3)
		定格電圧 AC100 [V]
		定格周波数 50/60 [Hz]
		定格消費電力 (c) 26/30 [W]
		騒音 45/44 [dB] (※4)
		質量 約 2.9 [kg] (※3)



電子除湿機 (※5)



除湿機専用送風機 (攪拌型)



除湿機専用送風機 (拡散型)



コントローラー (Ver3)



付属部品一式

セット内容

- ・電子除湿機×1台
 - ・送風機 + 攪拌型 + 拡散型 (どちらかを選択) ×1台
 - ・フィトンチッド (標準お試し版) ×1個
 - ・コントローラー (DC-330) ×1個
 - ・付属部品一式
- 対応面積: 10~20坪 (※7)
保証期間: 2年間 (送風機5年)
オープン価格

● フィトンチッドカートリッジ標準装備

1 中和消臭作用 2 抗菌作用 3 防虫作用

除湿機専用送風機「フィトンチッド」とは

樹木が自分を守るために発散させる天然の抗菌成分で、その芳香には臭いを消す中和消臭作用・カビや虫をよせつけない抗菌・防虫作用などがあるといわれています。

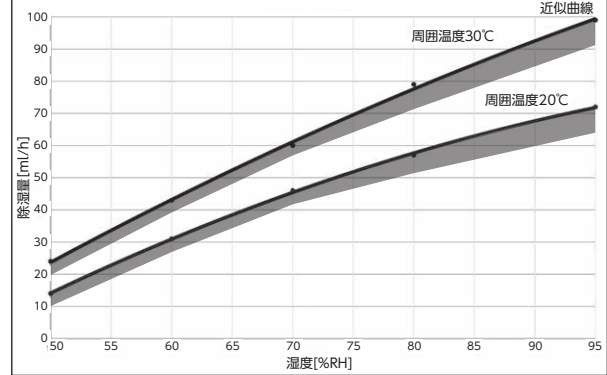
(抗菌・防虫作用は使用植物精油の効果になります)
(※8) フィトンチッド内容成分: ユーカリ、レモン、プナ、ヒバ、スギ、ハッカ、チョウジ、セイロンニッケイ、ヒノキ、クスノキなど、約30種類の天然植物精油をブレンド。
(※9) 一般的な床下構造での目安です。

交換用フィトンチッドカートリッジ (別売)

単体品番: PC-01A
内容成分: 天然植物精油 (※8)
交換目安: 約1年間 (※9)
(標準お試し版は約3~4ヶ月)
交換用カートリッジ標準価格
価格: オープン価格



● 除湿性能 (通常運転) 公称値



床下漏水センサー (コントローラー追加オプション)

水漏れしそうな所に設置し、ブレーカーが落ちる前に通電をカット。
床下漏水や浸水災害時に除湿ユニットの通電をストップさせ、コントローラーに表示し、ブザー音でお知らせすることが可能となります。

品番: DP-03P
価格: オープン価格

(※1) 周囲温湿度30℃/80%RHの場合の公称除湿能力。タイマー8時間運転時の除湿量は500~600ml。周囲が除湿され乾燥時は排水量が少なくなります。除湿機接続時の除湿風量。(※2) ユニット完成時、吸気口から1m地点で測定。(※3) 付属部品を除く(※4) 吹出口から45°1m地点で測定(送風機単体時)(※5) 専用の送風機とコントローラーでの連動運転が必要です。単体での運転はできません。(※6) 別途オプションで1m~4mタイプも選択可能(※7) 床下の状況によって異なります。密封空間または外気流入のない淀んだ場所(局所除湿)に使用してください。拡散及び攪拌型送風機との併用もお勧めします。

⚠ 安全に関するご注意

- ・布基礎(地面が土)や床下地面が絶えず水分をおびている住宅では、取付を避けてください。
- ・用途に合った商品をお選びください。不適切な用途で使われますと、事故の原因になることがあります。
- ・施工・電気工事が必要です。お買い上げの販売店、または専門業者にご相談ください。
- ・除湿機はアース接続(D種接地工事)が必要です。
- ・「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。誤った使い方をされますと事故の原因になります。

このパンフレットは、環境にやさしい大豆油インキ(SOYINK)を使用しています。



お問い合わせ・お求めのご相談は…

お客様相談室 0120-278-900

このカタログに記載されている商品の価格はオープン価格です。工事込販売価格は施工内容・家屋の構造・各種付帯工事によって異なるため販売店が独自に定めております。詳しくは販売店にお問い合わせください。

製品の詳細情報はこちら



www.seiho-sdk.co.jp

役立つ最新情報はSEIHO-WEBをご利用ください。



セイホプロダクツ株式会社

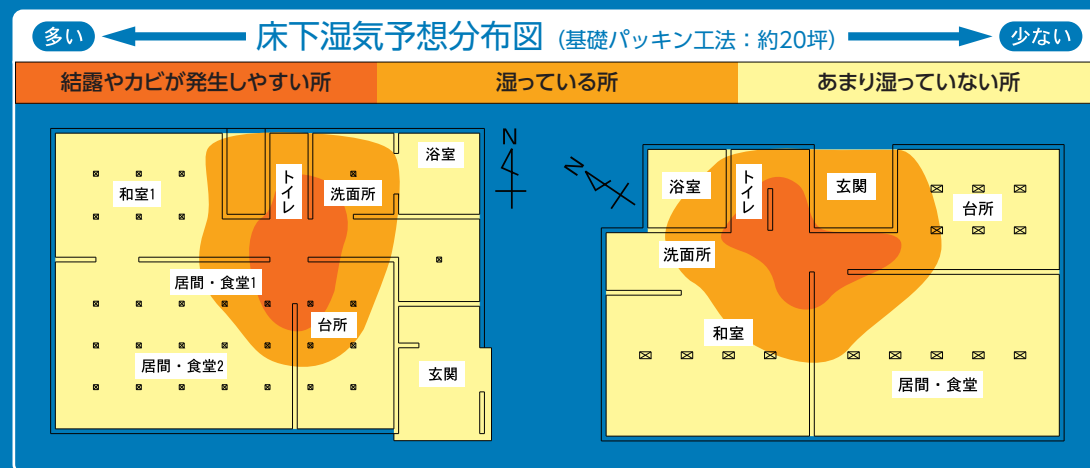
機器事業本部
〒816-0971 福岡県大野城市牛頸2364-3
tel.092-595-0704 fax.092-595-0931

SEIHO
PRODUCTS

基礎パッキン・基礎断熱工法 床下の湿気問題

現代住宅の床下基礎はトータル換気開口面積の広い「基礎パッキン工法」の採用が主となってきました。基礎パッキン工法は床下の隅にも通気性を確保することができる優れた工法です。しかし住宅が密集していたり、建物周囲に塀や植栽があったり、さらに耐震構造強化のために複雑に入った中基礎があったりと、実際は自然換気だけでは床下の空気が動きにくい状況にあります。

また、外気の取り入れの無い「基礎断熱工法」ではコンクリートから発生する余剰水分（新築時の初期放湿）や室内空調によって床下と居住空間に温度差が生じ結露が発生する場合があります。どちらの工法も特に床下の中央部の湿気問題（結露やカビ発生）が多く報告されています。

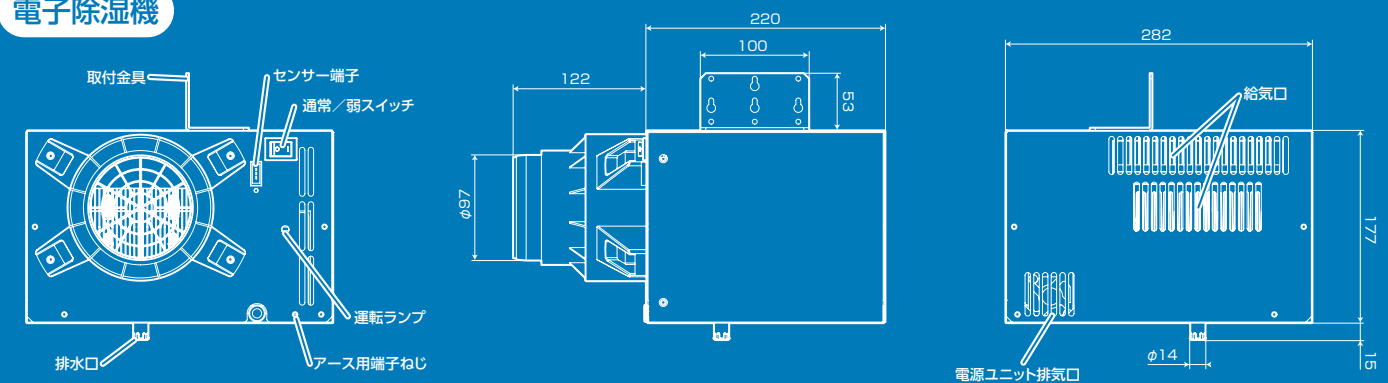


最新型の高効率
ペルチェモジュールを採用。
除湿機と専用送風機の組み合わせにより
床下を除湿し結露・カビ・腐朽菌等の発生を抑えます。

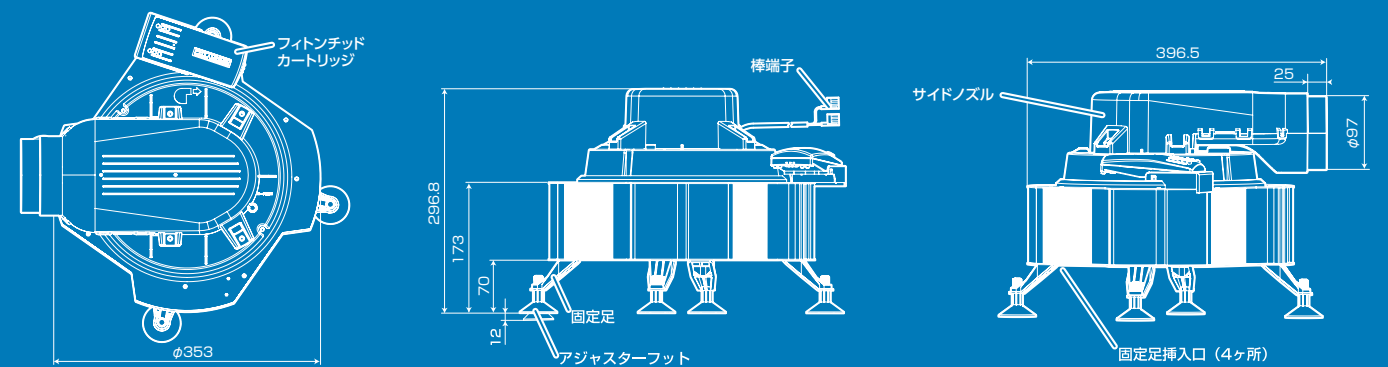
本体仕様 ●外形寸法

[単位：mm]

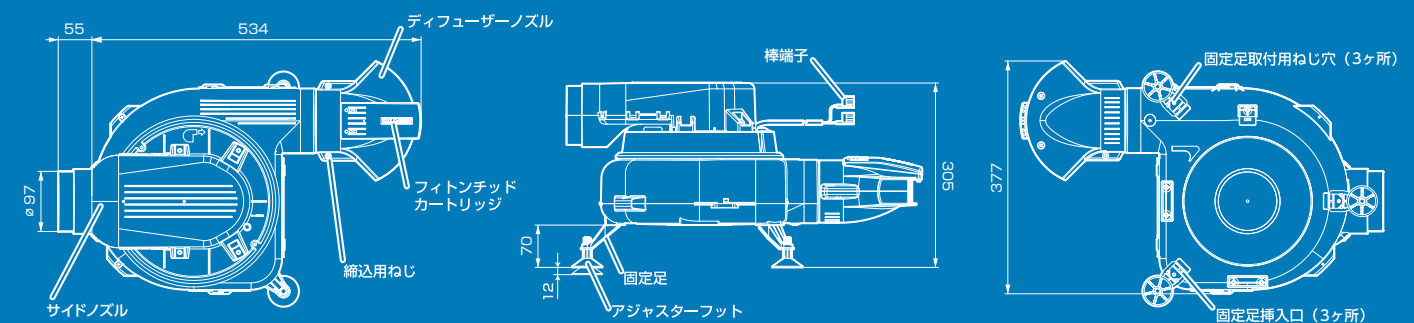
電子除湿機



除湿機専用送風機 (攪拌型) | TYPE-C



除湿機専用送風機 (拡散型) | TYPE-D

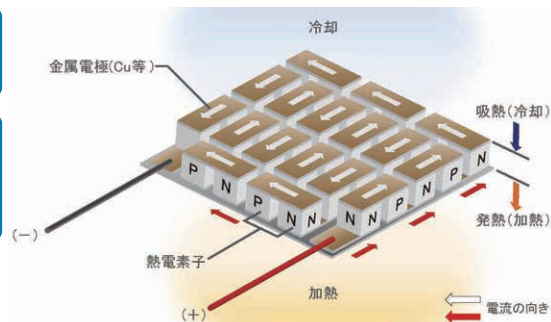


ドライプロで床下の湿気を解決

ドライプロは基礎パッキンや基礎断熱といった現代住宅に多い床下工法に対応する床下専用除湿機です。湿気や埃の多い床下でも故障しにくいペルチェ式冷却機と専用の攪拌・拡散型送風機の組み合わせにより床下を確実に除湿し、結露・カビ・腐朽菌などの発生を抑えます。

高性能
電子冷却技術

温暖化ガスを用いない
フロンレス



専用コントローラーで完全自動運転

基本運転：毎日10:00～16:00の6時間除湿送風運転を自動で行います。また、周囲が低温(14℃以下)の場合は送風のみ運転します。

低温時除湿運転自動OFF (初期設定14℃以下)	除湿フィン乾燥自動運転 (カビ防止)
ドレンパイプ排水異常検知・制御 (エラー表示: E-:dP)	除湿フィン異常検知・制御 (エラー表示: E-:cS)
コントローラー通信異常検知・制御 (エラー表示: E-:uS)	送風機動作異常検知・制御 (エラー表示: E-:uF)
放熱用フィン異常温度プロテクター内蔵	送風機単独運転

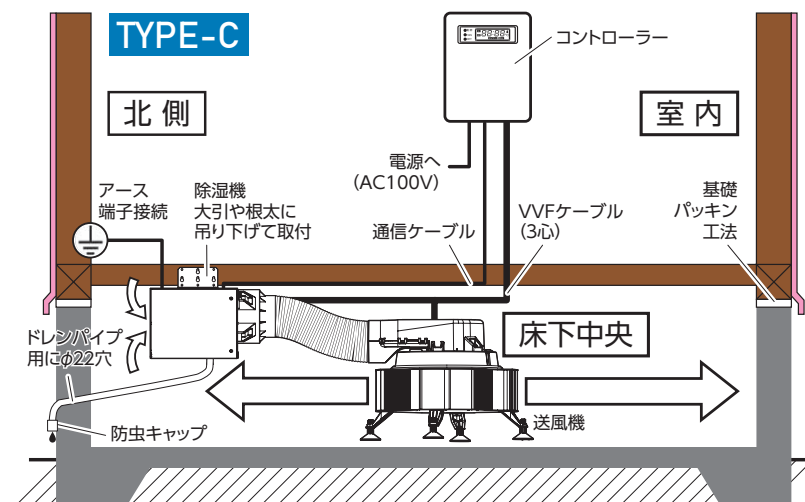
除湿運転は『通常(強)』と『弱』の切り替えが可能



- ・パワフル除湿運転の設定時は取付け初期や湿度の高い時期に10日間12時間運転を自動で行います。
- ・新築時の基礎コンクリート余剰水分の多い2～3年経過後は『弱』運転に切り替えて、省エネ運転が可能。
- ・電気代は1年間の月平均で約1,053円/月 (※A)
(弱運転時は約655円/月)

(※A)1日6時間運転、30日間、送風機+除湿機運転、1kwh=31円(パワフル除湿運転なし、12月～3月末までの4ヶ月を床下温度14℃以下とし除湿機のみ停止し送風運転をした場合)

コンパクトな除湿機で簡単施工



- ・送風機はフレキシブルアルミダクトで自由に向きは決められます。
- ・除湿水は長期において故障の心配のないポンプ排水自然勾配排水

※ドレンパイプは一般家庭エアコン用のドレンホース (DHQ-14) と共通品
※床下に水滴などで水が溜まっている場合は、雑巾やスポンジ等できれいに拭き取ってください。

DRY PRO ドライプロ 床下用電子除湿ユニット

床下漏水センサー



※別売オプション

水漏れをブザー音でお知らせ機能が追加



コントローラー

品番: DC-330(Ver3)



電子除湿機

品番: DP-800

基礎パッキン工法用

どちらかを選択

基礎断熱工法用



攪拌型 (※B)

品番: DP-306



拡散型 (※C)

品番: DP-400PD

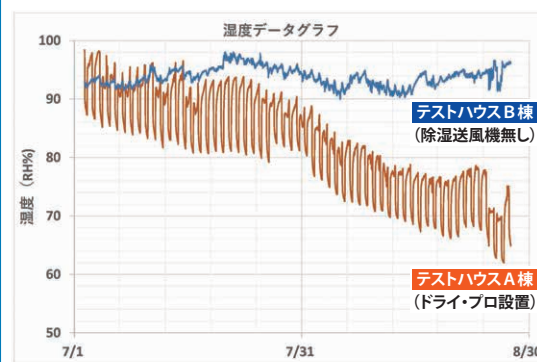
TYPE-C セット品番
DP-800-SCC

TYPE-D セット品番
DP-800-SDC

基礎断熱工法の効果検証データ

【温湿度データ】(※D)

除湿運転を毎日繰り返す事で乾燥した床下状態を確認しました。



◎実験方法 (※D)

基礎断熱工法住宅の新築初期を想定し、各棟床下に36ℓの水を散水後、乾燥木材(杉)を設置。

テストハウスA棟

：ドライプロ(拡散型)設置
(9:00～17:00運転)

テストハウスB棟

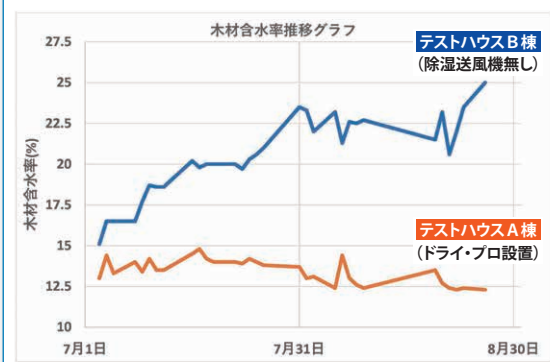
：機器設置なし

※テストハウスA・B棟ともに床面約10坪の基礎断熱工法床下

※実験期間：7月～8月末の2ヶ月間

【木材含水率データ】(※D)

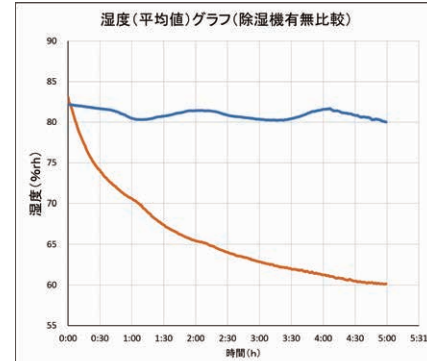
床下の木材は含水率が上昇する事なくより乾燥した状態を確認しました。



基礎パッキン工法の効果検証データ

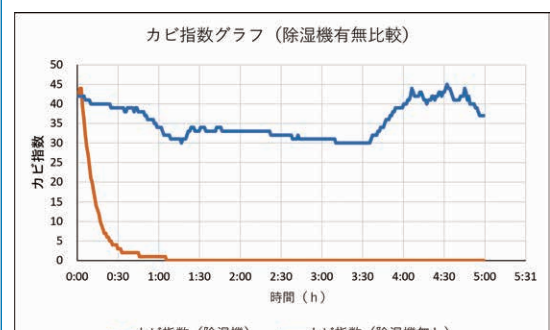
【湿度比較データ】(※E)

除湿運転を行う事で乾燥した床下状態を確認。



【カビ指数比較データ】(※E)(※F)

除湿運転を行う事でカビの汚染するリスクが極めて低い環境を確認。



◎実験方法 (※E)

当社床下シミュレーションスタジオ(約10坪)の基礎パッキン工法において湿度が高く、換気不足を想定した条件(測定前に加湿処理等)で攪拌型除湿送風機の有無での開始温度約30℃実験データ(※F)「カビ指数」とはカビの発生しやすさを予測する指標で0～200で表され、環境生物研究所所長 農学博士 阿部恵子氏により提唱された指標。カビ指数値「20～50」はおおよそ4ヵ月から1年以内にカビの汚染が始まる環境の目安。



テストハウス



温湿度の計測



木材含水率の計測



床下シミュレーションスタジオ



A棟にドライ・プロを設置



除湿量測定

(※B) 基礎パッキン工法の床下中央部周辺での不具合(結露やカビ発生)対策など、局所除湿用(基礎断熱工法に局所除湿での使用可能)
(※C) 基礎断熱工法の広範囲な床下を循環除湿(別途床下換気用拡散送風機の追加もお勧めします。)